

首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋(下部工)北工事

訂正箇所		正誤区分																	
特記仕様書 【P17】		<table border="1"> <tr> <td>構造物掘削 特殊部 A 2</td><td>1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去及び一部残置(切断・処分含む)</td><td>鋼矢板III型(リース品・残置部分は中古品)火打梁・腹起しを使用するもの。 油圧式圧入引抜機による施工。 中古品部材について、撤去後の処理方法は、別途監督員と協議し定めるものとする。 対象下部工:P6橋脚 土砂F</td></tr> <tr> <td>構造物掘削 特殊部 B 1</td><td>1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去</td><td>鋼矢板III型(リース品)自立式鋼矢板を使用するもの。油圧式圧入引抜機による施工。 対象下部工:A1橋台 土砂F</td></tr> </table>		構造物掘削 特殊部 A 2	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去及び一部残置(切断・処分含む)	鋼矢板III型(リース品・残置部分は中古品)火打梁・腹起しを使用するもの。 油圧式圧入引抜機による施工。 中古品部材について、撤去後の処理方法は、別途監督員と協議し定めるものとする。 対象下部工:P6橋脚 土砂F	構造物掘削 特殊部 B 1	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去	鋼矢板III型(リース品)自立式鋼矢板を使用するもの。油圧式圧入引抜機による施工。 対象下部工:A1橋台 土砂F										
構造物掘削 特殊部 A 2	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去及び一部残置(切断・処分含む)	鋼矢板III型(リース品・残置部分は中古品)火打梁・腹起しを使用するもの。 油圧式圧入引抜機による施工。 中古品部材について、撤去後の処理方法は、別途監督員と協議し定めるものとする。 対象下部工:P6橋脚 土砂F																	
構造物掘削 特殊部 B 1	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去	鋼矢板III型(リース品)自立式鋼矢板を使用するもの。油圧式圧入引抜機による施工。 対象下部工:A1橋台 土砂F																	
誤		<p>受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め掘削方法を変更する必要が生じた場合は、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>2 1-2-2 支 払 共通仕様書2-8-1 1に規定する支払に下記を追加する。</p> <table> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-(6) 構造物掘削</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊部 A 1</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>特殊部 A 2</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>特殊部 B 1</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 1-3 基礎材 2 1-3-1 材料 基礎材Bに用いる碎石は、構造物掘削で発生したC-4 0(作業ヤード整備工 置換工C-4 0で埋め戻した材料)を使用する。</p> <p>2 1-4 基礎杭 2 1-4-1 適用すべき諸基準 共通仕様書7-2-1に下記を追加する。 ・杭基礎施工便覧 ・道路橋示方書・同解説(IV.下部構造編)</p>		単価表の項目	検測の単位	2-(6) 構造物掘削		特殊部 A 1	m ³	特殊部 A 2	m ³	特殊部 B 1	m ³						
単価表の項目	検測の単位																		
2-(6) 構造物掘削																			
特殊部 A 1	m ³																		
特殊部 A 2	m ³																		
特殊部 B 1	m ³																		
正		<table border="1"> <tr> <td>構造物掘削 特殊部 A 2</td><td>1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去及び一部残置(切断含む)</td><td>鋼矢板III型(リース品・残置部分は中古品)火打梁・腹起しを使用するもの。 油圧式圧入引抜機による施工。 中古品部材について、撤去後の処理方法は、別途監督員と協議し定めるものとする。 対象下部工:P6橋脚 土砂F</td></tr> <tr> <td>構造物掘削 特殊部 B 1</td><td>1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去</td><td>鋼矢板III型(リース品)自立式鋼矢板を使用するもの。油圧式圧入引抜機による施工。 対象下部工:A1橋台 土砂F</td></tr> </table> <p>受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め掘削方法を変更する必要が生じた場合は、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>2 1-2-2 支 払 共通仕様書2-8-1 1に規定する支払に下記を追加する。</p> <table> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-(6) 構造物掘削</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊部 A 1</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>特殊部 A 2</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>特殊部 B 1</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 1-3 基礎材 2 1-3-1 材料 基礎材Bに用いる碎石は、構造物掘削で発生したC-4 0(作業ヤード整備工 置換工C-4 0で埋め戻した材料)を使用する。</p> <p>2 1-4 基礎杭 2 1-4-1 適用すべき諸基準 共通仕様書7-2-1に下記を追加する。 ・杭基礎施工便覧 ・道路橋示方書・同解説(IV.下部構造編)</p>		構造物掘削 特殊部 A 2	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去及び一部残置(切断含む)	鋼矢板III型(リース品・残置部分は中古品)火打梁・腹起しを使用するもの。 油圧式圧入引抜機による施工。 中古品部材について、撤去後の処理方法は、別途監督員と協議し定めるものとする。 対象下部工:P6橋脚 土砂F	構造物掘削 特殊部 B 1	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去	鋼矢板III型(リース品)自立式鋼矢板を使用するもの。油圧式圧入引抜機による施工。 対象下部工:A1橋台 土砂F	単価表の項目	検測の単位	2-(6) 構造物掘削		特殊部 A 1	m ³	特殊部 A 2	m ³	特殊部 B 1	m ³
構造物掘削 特殊部 A 2	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去及び一部残置(切断含む)	鋼矢板III型(リース品・残置部分は中古品)火打梁・腹起しを使用するもの。 油圧式圧入引抜機による施工。 中古品部材について、撤去後の処理方法は、別途監督員と協議し定めるものとする。 対象下部工:P6橋脚 土砂F																	
構造物掘削 特殊部 B 1	1) 鋼矢板による締切り 2) 構造物施工基面からの土砂(置換後の材料_土砂F相当も含む)の掘削、埋戻し、締固め 3) 掘削余剰土の大栄ジャンクション南工事盛土場への運搬 4) 鋼矢板の撤去	鋼矢板III型(リース品)自立式鋼矢板を使用するもの。油圧式圧入引抜機による施工。 対象下部工:A1橋台 土砂F																	
単価表の項目	検測の単位																		
2-(6) 構造物掘削																			
特殊部 A 1	m ³																		
特殊部 A 2	m ³																		
特殊部 B 1	m ³																		

訂正箇所		正誤区分								
特記仕様書 【P18】		<p>21-4-2 定義 共通仕様書7-2-2に下記を追加する。 既製杭とは、設計図書及び監督員の指示に従って、工場製作されたSC杭及びPHC杭を中掘り杭工法（セメントミルク噴出搅拌方式）および先端に羽加工された鋼管杭を定位全回転式掘削により、所定の深さに埋設する杭をいう。</p> <p>21-4-3 種別 既製杭の単価表の項目の種別は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既製杭 (SC φ1000)</td><td>工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> <tr> <td>既製杭 (PHC φ1000)</td><td>工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> <tr> <td>既製杭 (回転杭 φ1200)</td><td>工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> </tbody> </table> <p>21-4-4 材料 共通仕様書7-2-3に下記を追加する。 (1) 中詰コンクリートに使用する材料は、共通仕様書8-2-3 コンクリートの種別に示す、B2-1とする。 (2) セメントミルクに使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントとする。</p> <p>21-4-5 施工 (1) 各橋脚の最初の杭については、設計図書に示す土質調査結果と施工機械の削孔電流抵抗値及び削孔速度との相関性、排出土の性状による支持層・施工能率等を把握するための試験杭の施工を監督員の立会いのもとに実施するものとする。受注者は、試験杭の結果を直ちに監督員に提出し、監督員が設計図書の変更を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (2) 施工中、極度の偏心、傾斜が生じた場合は、受注者は直ちに原因を調査し、その処置及び設計図書の変更に関して監督員と協議しなければならない。受注者の責に帰さない理由により、監督員が特別な対策工を必要とし設計図書の変更を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (3) 所定の設計深度に到達する前に貫入不能となった場合または、設計長まで貫入しても所定の支持力が得られない場合は、受注者は直ちに原因を調査し、その処置及び設計図書に関して監督員と協議しなければならない。監督員が対策等を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (4) くいの支持力の確認は、施工機械の削孔電流抵抗値及び削孔速度により確認し、結果を監督員に報告するものとする。</p>	単価表の項目	作業内容	既製杭 (SC φ1000)	工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの	既製杭 (PHC φ1000)	工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの	既製杭 (回転杭 φ1200)	工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの
単価表の項目	作業内容									
既製杭 (SC φ1000)	工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの									
既製杭 (PHC φ1000)	工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの									
既製杭 (回転杭 φ1200)	工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの									
誤		<p>-18-</p> <p>21-4-2 定義 共通仕様書7-2-2に下記を追加する。 既製杭とは、設計図書及び監督員の指示に従って、工場製作されたSC杭及びPHC杭を中掘り杭工法（セメントミルク噴出搅拌方式）および先端に羽加工された鋼管杭を定位全回転式掘削により、所定の深さに埋設する杭をいう。</p> <p>21-4-3 種別 既製杭の単価表の項目の種別は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既製杭 (SC φ1000)</td><td>工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> <tr> <td>既製杭 (PHC φ1000)</td><td>工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> <tr> <td>既製杭 (回転杭 φ1200)</td><td>工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> </tbody> </table> <p>21-4-4 材料 共通仕様書7-2-3に下記を追加する。 (1) 中詰コンクリートに使用する材料は、「コンクリート施工管理要領」4-1のコンクリートの種別に示す、A1-3とする。 (2) セメントミルクに使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントとする。</p> <p>21-4-5 施工 (1) 各橋脚の最初の杭については、設計図書に示す土質調査結果と施工機械の削孔電流抵抗値及び削孔速度との相関性、排出土の性状による支持層・施工能率等を把握するための試験杭の施工を監督員の立会いのもとに実施するものとする。受注者は、試験杭の結果を直ちに監督員に提出し、監督員が設計図書の変更を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (2) 施工中、極度の偏心、傾斜が生じた場合は、受注者は直ちに原因を調査し、その処置及び設計図書の変更に関して監督員と協議しなければならない。受注者の責に帰さない理由により、監督員が特別な対策工を必要とし設計図書の変更を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (3) 所定の設計深度に到達する前に貫入不能となった場合または、設計長まで貫入しても所定の支持力が得られない場合は、受注者は直ちに原因を調査し、その処置及び設計図書に関して監督員と協議しなければならない。監督員が対策等を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (4) くいの支持力の確認は、施工機械の削孔電流抵抗値及び削孔速度により確認し、結果を監督員に報告するものとする。</p>	単価表の項目	作業内容	既製杭 (SC φ1000)	工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの	既製杭 (PHC φ1000)	工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの	既製杭 (回転杭 φ1200)	工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの
単価表の項目	作業内容									
既製杭 (SC φ1000)	工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの									
既製杭 (PHC φ1000)	工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの									
既製杭 (回転杭 φ1200)	工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの									
正		<p>21-4-2 定義 共通仕様書7-2-2に下記を追加する。 既製杭とは、設計図書及び監督員の指示に従って、工場製作されたSC杭及びPHC杭を中掘り杭工法（セメントミルク噴出搅拌方式）および先端に羽加工された鋼管杭を定位全回転式掘削により、所定の深さに埋設する杭をいう。</p> <p>21-4-3 種別 既製杭の単価表の項目の種別は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既製杭 (SC φ1000)</td><td>工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> <tr> <td>既製杭 (PHC φ1000)</td><td>工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> <tr> <td>既製杭 (回転杭 φ1200)</td><td>工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの</td></tr> </tbody> </table> <p>21-4-4 材料 共通仕様書7-2-3に下記を追加する。 (1) 中詰コンクリートに使用する材料は、「コンクリート施工管理要領」4-1のコンクリートの種別に示す、A1-3とする。 (2) セメントミルクに使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントとする。</p> <p>21-4-5 施工 (1) 各橋脚の最初の杭については、設計図書に示す土質調査結果と施工機械の削孔電流抵抗値及び削孔速度との相関性、排出土の性状による支持層・施工能率等を把握するための試験杭の施工を監督員の立会いのもとに実施するものとする。受注者は、試験杭の結果を直ちに監督員に提出し、監督員が設計図書の変更を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (2) 施工中、極度の偏心、傾斜が生じた場合は、受注者は直ちに原因を調査し、その処置及び設計図書の変更に関して監督員と協議しなければならない。受注者の責に帰さない理由により、監督員が特別な対策工を必要とし設計図書の変更を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (3) 所定の設計深度に到達する前に貫入不能となった場合または、設計長まで貫入しても所定の支持力が得られない場合は、受注者は直ちに原因を調査し、その処置及び設計図書に関して監督員と協議しなければならない。監督員が対策等を指示した場合には、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (4) くいの支持力の確認は、施工機械の削孔電流抵抗値及び削孔速度により確認し、結果を監督員に報告するものとする。</p>	単価表の項目	作業内容	既製杭 (SC φ1000)	工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの	既製杭 (PHC φ1000)	工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの	既製杭 (回転杭 φ1200)	工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの
単価表の項目	作業内容									
既製杭 (SC φ1000)	工場製SC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの									
既製杭 (PHC φ1000)	工場製PHC杭 (φ1000mm) を所定の深さに設置するもの									
既製杭 (回転杭 φ1200)	工場製鋼管杭 (回転杭) (φ1200mm) を所定の深さに設置するもの									

訂正箇所

金抜設計書

単価表

8.11

正誤区分

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
1	2 - (6)	構造物掘削 特殊部A 1	12,102	m ³			
2	2 - (6)	構造物掘削 特殊部A 2	487	m ³			
3	2 - (6)	構造物掘削 特殊部B 1	482	m ³			
4	2 - (8)	基礎材 B	343	m ³			
5	7 - (1)	基礎杭 既製杭 (SC φ 1000)	2,882	m			
6	7 - (1)	基礎杭 既製杭 (PHC φ 1000)	7,536	m			
7	7 - (1)	基礎杭 既製杭 (回転杭 φ 1200)	2,334	m			
8	8 - (1)	コンクリート A 1 - 3	2,304	m ³			
9	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1	4,926	m ³			
10	8 - (1)	コンクリート D 1 - 1	264	m ³			
11	8 - (2)	型わく C	4,167	m ³			
12	8 - (2)	型わく D	78	m ³			

誤

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
1	2 - (6)	構造物掘削 特殊部A 1	12,102	m ³			
2	2 - (6)	構造物掘削 特殊部A 2	487	m ³			
3	2 - (6)	構造物掘削 特殊部B 1	482	m ³			
4	2 - (8)	基礎材 B	343	m ³			
5	7 - (1)	基礎杭 既製杭 (SC φ 1000)	2,882	m			
6	7 - (1)	基礎杭 既製杭 (PHC φ 1000)	7,536	m			
7	7 - (1)	基礎杭 既製杭 (回転杭 φ 1200)	2,334	m			
8	8 - (1)	コンクリート A 1 - 3	2,311	m ³			
9	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1	4,926	m ³			
10	8 - (1)	コンクリート D 1 - 1	264	m ³			
11	8 - (2)	型わく C	4,193	m ³			
12	8 - (2)	型わく D	78	m ³			

正

訂正箇所

金抜設計書

単価表

20、21

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
13	8 - (2)	型わく R 1	319	m ²			
14	8 - (3)	鉄筋 A	749.12	t			
15	8 - (3)	鉄筋 B	326.43	t			
16	8 - (3)	鉄筋 C	142.53	t			
17	17 - (31)	はく落防止対策工 A	11	m ²			
18	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B	2,510	人・日			
19	特 - (1)	落橋防止構造アンカー C	412	kg			
20	特 - (2)	作業ヤード整備工 置換工 特殊掘削A 1	13,867	m ³			
21	特 - (2)	作業ヤード整備工 置換工 特殊掘削A 2	14,200	m ³			
22	特 - (2)	作業ヤード整備工 置換工 C-40	33,692	m ³			
23	特 - (2)	作業ヤード整備工 敷鉄板	5,150	m ²			
24	特 - (2)	作業ヤード整備工 キャスター・ゲート	3	箇所			

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
13	8 - (2)	型わく R 1	319	m ²			
14	8 - (3)	鉄筋 A	749.12	t			
15	8 - (3)	鉄筋 B	326.43	t			
16	8 - (3)	鉄筋 C	142.53	t			
17	17 - (31)	はく落防止対策工 A	11	m ²			
18	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B	2,510	人・日			
19	特 - (1)	落橋防止構造アンカー C	412	kg			
20	特 - (2)	作業ヤード整備工 置換工 特殊掘削A 1	15,635	m ³			
21	特 - (2)	作業ヤード整備工 置換工 特殊掘削A 2	12,435	m ³			
22	特 - (2)	作業ヤード整備工 置換工 C-40	33,692	m ³			
23	特 - (2)	作業ヤード整備工 敷鉄板	5,150	m ²			
24	特 - (2)	作業ヤード整備工 キャスター・ゲート	3	箇所			

訂正箇所

正誤区分

設計図

図面目次

【A1~P19】

誤

図面目次 【 A1~P19 】

図番	図面名称	図番	図面名称
1	位 置 図	155	高谷川第2高架橋 P13橋脚 基礎杭詳細図
2~3	運 搬 路 図 (1)・(2)	156~157	高谷川第2高架橋 P14橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
4	交通保安要員配置図	158~163	高谷川第2高架橋 P14橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
5	数 量 総 表	164	高谷川第2高架橋 P14橋脚 基礎杭詳細図
6~8	高谷川第1高架橋 全 体 一 般 図(その1)～(その3)	165~166	高谷川第2高架橋 P15橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
9~11	高谷川第2高架橋 全 体 一 般 図(その1)～(その3)	167~172	高谷川第2高架橋 P15橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
12~13	高谷川第3高架橋 全 体 一 般 図(その1)・(その2)	173	高谷川第2高架橋 P15橋脚 基礎杭詳細図
14	高谷川第1高架橋 下 部 工 座 横 図	174~175	高谷川第2高架橋 P16橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
15	高谷川第2高架橋 下 部 工 座 横 図	176~181	高谷川第2高架橋 P16橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
16	高谷川第3高架橋 下 部 工 座 横 図	182	高谷川第2高架橋 P16橋脚 基礎杭詳細図
17~19	高谷川第1高架橋 A1橋台 構 造 図(その1)～(その3)	183~184	高谷川第2高架橋 P17橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
20~30	高谷川第1高架橋 A1橋台 配 筋 図(その1)～(その11)	185~190	高谷川第2高架橋 P17橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
31	高谷川第1高架橋 A1橋台 基礎杭詳細図	191	高谷川第2高架橋 P18橋脚 基礎杭詳細図
32~33	高谷川第1高架橋 P1橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	192~194	高谷川第2高架橋 P18橋脚 構 造 図(その1)～(その3)
34~39	高谷川第1高架橋 P1橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	195~201	高谷川第2高架橋 P18橋脚 配 筋 図(その1)～(その7)
40~41	高谷川第1高架橋 P1橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	202	高谷川第2高架橋 P18橋脚 基礎杭詳細図
42~43	高谷川第1高架橋 P2橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	203~204	高谷川第2高架橋 P19橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
44~49	高谷川第1高架橋 P2橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	205~211	高谷川第2高架橋 P19橋脚 配 筋 図(その1)～(その7)
50~51	高谷川第1高架橋 P3橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	212	高谷川第2高架橋 P19橋脚 基礎杭詳細図
52~53	高谷川第1高架橋 P3橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	213	高谷川第2高架橋 A1橋台 土留め工図
54~59	高谷川第1高架橋 P3橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	214	高谷川第2高架橋 P1橋脚 土留め工図
60~61	高谷川第1高架橋 P3橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	215	高谷川第2高架橋 P2橋脚 土留め工図
62~63	高谷川第1高架橋 P3橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	216	高谷川第2高架橋 P3橋脚 土留め工図
64~69	高谷川第1高架橋 P4橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	217	高谷川第2高架橋 P4橋脚 土留め工図
70~71	高谷川第1高架橋 P4橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	218	高谷川第2高架橋 P5橋脚 土留め工図
72~73	高谷川第1高架橋 P5橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	219	高谷川第2高架橋 P6橋脚 土留め工図
74~79	高谷川第1高架橋 P5橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	220	高谷川第2高架橋 P7橋脚 土留め工図
80~81	高谷川第1高架橋 P5橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	221	高谷川第2高架橋 P8橋脚 土留め工図
82~83	高谷川第1高架橋 P5橋脚 構 造 図(その1)～(その2)	222	高谷川第2高架橋 P9橋脚 土留め工図
84~89	高谷川第1高架橋 P6橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	223	高谷川第2高架橋 P10橋脚 土留め工図
90	高谷川第1高架橋 P6橋脚 基礎杭詳細図	224	高谷川第2高架橋 P11橋脚 土留め工図
91~92	高谷川第1高架橋 P7橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	225	高谷川第2高架橋 P12橋脚 土留め工図
93~98	高谷川第1高架橋 P7橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	226	高谷川第2高架橋 P13橋脚 土留め工図
99	高谷川第1高架橋 P7橋脚 基礎杭詳細図	227	高谷川第2高架橋 P14橋脚 土留め工図
100~101	高谷川第1高架橋 P8橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	228	高谷川第2高架橋 P15橋脚 土留め工図
102~107	高谷川第1高架橋 P8橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	229	高谷川第2高架橋 P16橋脚 土留め工図
108	高谷川第1高架橋 P8橋脚 基礎杭詳細図	230	高谷川第2高架橋 P17橋脚 土留め工図
109~111	高谷川第1高架橋 P9橋脚 構 造 図(その1)～(その3)	231	高谷川第2高架橋 P18橋脚 土留め工図
112~118	高谷川第1高架橋 P9橋脚 配 筋 図(その1)～(その7)	232	高谷川第2高架橋 P19橋脚 土留め工図
119	高谷川第2高架橋 P9橋脚 基礎杭詳細図	233	構造物掘削 鋼矢板転用計画(参考)
120~121	高谷川第2高架橋 P10橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	234~236	下部工は「落対策工図」(その1)～(その3)
122~127	高谷川第2高架橋 P10橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	237~239	下部工施工計画図【A1~P9】(その1)～(その3)
128	高谷川第2高架橋 P10橋脚 基礎杭詳細図	240~242	下部工施工計画図【P10~P19】(その1)～(その3)
129~130	高谷川第2高架橋 P11橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	243	下部工施工計画図(B5パリケード、敷鉄板)
131~136	高谷川第2高架橋 P11橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	244~246	搬換工図(その1)～(その3)
137	高谷川第2高架橋 P11橋脚 基礎杭詳細図	247~266	搬換工横断面図(その1)～(その20)
138~139	高谷川第2高架橋 P12橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	267~274	内立式脚立工図(その1)～(その8)
140~145	高谷川第2高架橋 P12橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	275	鋼矢板転用計画(参考)
146	高谷川第2高架橋 P12橋脚 基礎杭詳細図	276	搬換工 鋼矢板転用計画(参考)
147~148	高谷川第2高架橋 P13橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	277	支障物件図(参考図)
149~154	高谷川第2高架橋 P13橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)		

正

図面目次 【 A1~P19 】

図番	図面名称	図番	図面名称
1	位 置 図	155	高谷川第2高架橋 P13橋脚 基礎杭詳細図
2~3	運 搬 路 図 (1)・(2)	156~157	高谷川第2高架橋 P14橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
4	交通保安要員配置図	158~163	高谷川第2高架橋 P14橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
5	数 量 総 表	164	高谷川第2高架橋 P14橋脚 基礎杭詳細図
6~8	高谷川第1高架橋 全 体 一 般 図(その1)～(その3)	165~166	高谷川第2高架橋 P15橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
9~11	高谷川第2高架橋 全 体 一 般 図(その1)～(その3)	167~172	高谷川第2高架橋 P15橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
12~13	高谷川第3高架橋 全 体 一 般 図(その1)・(その2)	173	高谷川第2高架橋 P15橋脚 基礎杭詳細図
14	高谷川第1高架橋 下 部 工 座 横 図	174~175	高谷川第2高架橋 P16橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
15	高谷川第2高架橋 下 部 工 座 横 図	176~181	高谷川第2高架橋 P16橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
16	高谷川第3高架橋 下 部 工 座 横 図	182	高谷川第2高架橋 P16橋脚 基礎杭詳細図
17~19	高谷川第1高架橋 A1橋台 構 造 図(その1)～(その3)	183~184	高谷川第2高架橋 P17橋脚 構 造 図(その1)・(その2)
20~30	高谷川第1高架橋 A1橋台 配 筋 図(その1)～(その11)	185~190	高谷川第2高架橋 P17橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)
31	高谷川第1高架橋 A1橋台 基礎杭詳細図	191	高谷川第2高架橋 P18橋脚 基礎杭詳細図
32~33	高谷川第1高架橋 P1橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	192~194	高谷川第2高架橋 P18橋脚 構 造 図(その1)～(その3)
34~39	高谷川第1高架橋 P1橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	195~197	高谷川第2高架橋 P19橋脚 土留め工図
40~41	高谷川第1高架橋 P1橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	202	高谷川第2高架橋 P19橋脚 基礎杭詳細図
42~43	高谷川第1高架橋 P2橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	203~204	高谷川第2高架橋 P19橋脚 土留め工図
44~49	高谷川第1高架橋 P2橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	205~211	高谷川第2高架橋 P19橋脚 配 筋 図(その1)～(その7)
50~51	高谷川第1高架橋 P3橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	212	高谷川第2高架橋 P19橋脚 基礎杭詳細図
52~53	高谷川第1高架橋 P3橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	213	高谷川第2高架橋 A1橋台 土留め工図
54~59	高谷川第1高架橋 P3橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	214	高谷川第2高架橋 P1橋脚 土留め工図
60~61	高谷川第1高架橋 P3橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	215	高谷川第2高架橋 P2橋脚 土留め工図
62~63	高谷川第1高架橋 P3橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	216	高谷川第2高架橋 P3橋脚 土留め工図
64~69	高谷川第1高架橋 P4橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	217	高谷川第2高架橋 P4橋脚 土留め工図
70~71	高谷川第1高架橋 P4橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	218	高谷川第2高架橋 P5橋脚 土留め工図
72~73	高谷川第1高架橋 P5橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	219	高谷川第2高架橋 P7橋脚 土留め工図
74~79	高谷川第1高架橋 P5橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	220	高谷川第2高架橋 P8橋脚 土留め工図
80~81	高谷川第1高架橋 P5橋脚 基礎杭詳細図(その1)・(その2)	221	高谷川第2高架橋 P9橋脚 土留め工図
82~83	高谷川第1高架橋 P6橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	222	高谷川第2高架橋 P9橋脚 土留め工図
84~89	高谷川第1高架橋 P6橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	223	高谷川第2高架橋 P10橋脚 土留め工図
90	高谷川第1高架橋 P6橋脚 基礎杭詳細図	224	高谷川第2高架橋 P11橋脚 土留め工図
91~92	高谷川第1高架橋 P7橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	225	高谷川第2高架橋 P12橋脚 土留め工図
93~98	高谷川第1高架橋 P7橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	226	高谷川第2高架橋 P13橋脚 土留め工図
99	高谷川第1高架橋 P7橋脚 基礎杭詳細図	227	高谷川第2高架橋 P14橋脚 土留め工図
100~101	高谷川第1高架橋 P8橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	228	高谷川第2高架橋 P14橋脚 土留め工図
102~107	高谷川第1高架橋 P8橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	229	高谷川第2高架橋 P15橋脚 土留め工図
108	高谷川第1高架橋 P8橋脚 基礎杭詳細図	230	高谷川第2高架橋 P15橋脚 土留め工図
109~111	高谷川第1高架橋 P9橋脚 構 造 図(その1)～(その3)	231	高谷川第2高架橋 P15橋脚 土留め工図
112~116	高谷川第1高架橋 P9橋脚 配 筋 図(その1)～(その7)	232	高谷川第2高架橋 P15橋脚 土留め工図
119	高谷川第1高架橋 P9橋脚 基礎杭詳細図	233	構造物掘削 鋼矢板転用計画(参考)
120~121	高谷川第2高架橋 P10橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	234~236	下部工は「落対策工図」(その1)～(その3)
122~127	高谷川第2高架橋 P10橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	237~239	下部工施工計画図【A1~P9】(その1)～(その3)
128	高谷川第2高架橋 P10橋脚 基礎杭詳細図	240~242	下部工施工計画図【P10~P19】(その1)～(その3)
129~130	高谷川第2高架橋 P11橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	243	下部工施工計画図(B5パリケード、敷鉄板)
131~136	高谷川第2高架橋 P11橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)	244~246	搬換工図(その1)～(その3)
137	高谷川第2高架橋 P11橋脚 基礎杭詳細図	247~266	搬換工横断面図(その1)～(その20)
138~139	高谷川第2高架橋 P12橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	267~274	内立式脚立工図(その1)～(その8)
140~145	高谷川第2高架橋 P12橋脚 基礎杭詳細図	275	鋼矢板転用計画(参考)
146	高谷川第2高架橋 P12橋脚 基礎杭詳細図	276	P16進入路図(参考図)
147~148	高谷川第2高架橋 P13橋脚 構 造 図(その1)・(その2)	277	支障物件図(参考図)
149~154	高谷川第2高架橋 P13橋脚 配 筋 図(その1)～(その6)		

訂正箇所

設計図

P5/277

数量總括表

正誤区分

数量總括表【A1~P】

誤

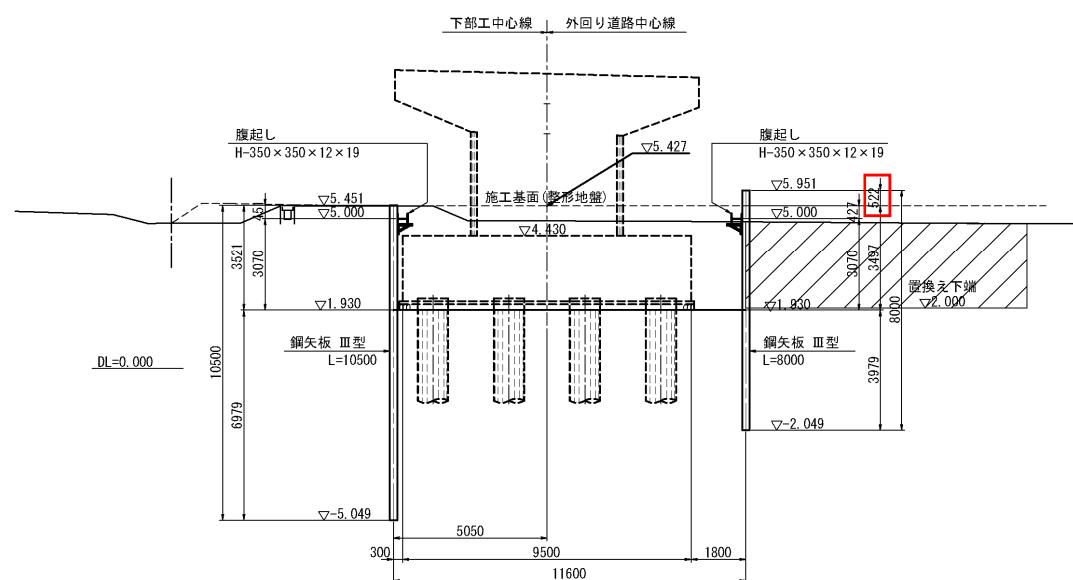
数量総括表【A1～P1】

訂正箇所

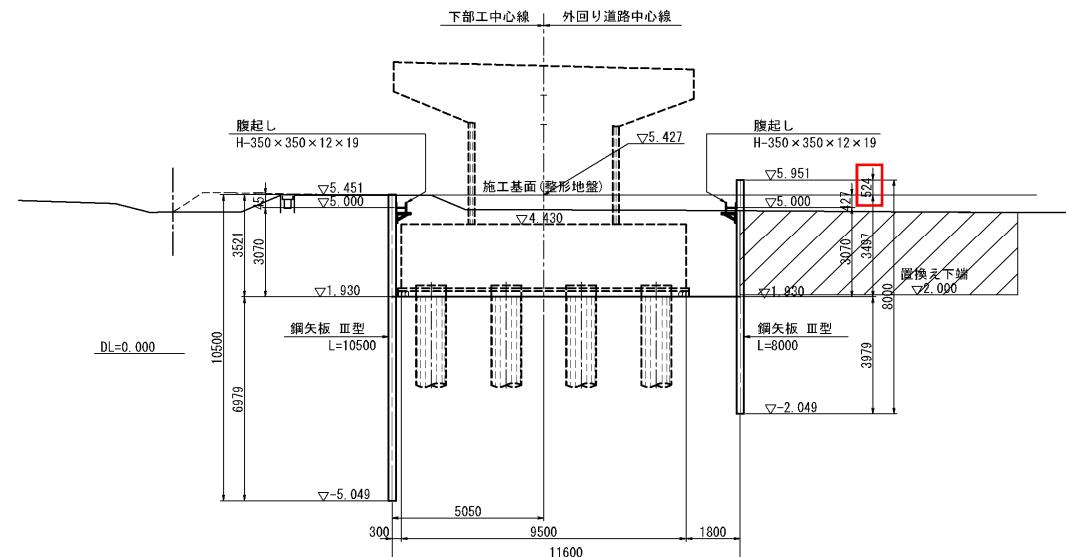
設計図
P220/277
P7橋脚土留め
工図

正面図

誤



正



首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋(下部工)北工事

訂正箇所		正誤区分						
設計図 P233/277 構造物掘削 鋼矢板転用計 画(参考)	誤	躯体No.	型	設計枚数	搬入枚数	再利用枚数	長さ	備考
		A1	III	140	140	-	8.5	
		P1	III	30	30	-	10.5	
		P1	III	106	106	32	10	P6～32枚転用、P13～30枚転用
		P2	III	30	-	-	11.5	
		P2	III	106	106	-	11	
		P3	III	30	-	-	10	
		P3	III	106	106	-	10.5	
		P4	III	30	-	30	9.5	
		P4	III	98	98	-	11	P12～30枚転用
		P5	III	30	-	-	9.5	
		P5	III	98	98	94	9	P10～94枚転用
		P6	III	32	0	32	10	
		P6	III	42	42	42	8	P7～42枚転用 P13～32枚転用
		P6	III	48	-	-	8	
		P7	III	36	-	-	10.5	
		P7	III	94	52	94	8	P11～94枚転用
		P8	III	27	-	-	10.5	
		P8	III	85	85	-	8	
		P9	III	39	-	-	10	
		P9	III	97	97	-	8	
		P10	III	36	-	-	10	
		P10	III	94	0	-	9	
		P11	III	36	-	-	8.5	
		P11	III	94	0	-	8	
		P12	III	36	-	-	8.5	
		P12	III	94	64	-	9.5	
		P13	III	36	-	-	8.5	
		P13	III	100	68	-	10	
		P14	III	36	-	-	8	
		P14	III	100	100	-	8	
		P15	III	36	-	-	8.5	
		P15	III	100	100	-	9.5	
		P16	III	36	-	-	8.5	
		P16	III	100	6	94	8	P11～94枚転用
		P17	III	36	-	-	8.5	
		P17	III	94	94	94	8	P16～94枚転用
		P18	IV	42	42	-	15	
		P18	IV	100	100	-	17	
		P19	IV	49	49	-	13.5	
		P19	IV	141	141	-	14	
		合計		2700	1724	418		
正	正	躯体No.	型	設計枚数	搬入枚数	転用枚数	長さ	備考
		A1	III	140	140	-	8.5	
		P1	III	30	30	-	10.5	
		P1	III	106	106	32	10	P6～32枚転用
		P2	III	30	-	-	11.5	
		P2	III	106	106	-	11	
		P3	III	30	-	-	10	
		P3	III	106	106	-	10.5	
		P4	III	30	-	30	9.5	
		P4	III	98	98	-	11	P12～30枚転用
		P5	III	30	-	-	9.5	
		P5	III	98	98	94	9	P10～94枚転用
		P6	III	32	0	32	10	
		P6	III	42	42	42	8	P7～42枚転用 P13～32枚転用
		P6	III	48	-	-	8	
		P7	III	36	-	-	10.5	
		P7	III	94	52	-	8	
		P8	III	27	-	-	10.5	
		P8	III	85	85	-	8	
		P9	III	39	-	-	10	
		P9	III	97	97	-	8	
		P10	III	36	-	-	10	
		P10	III	94	0	-	9	
		P11	III	36	-	-	8.5	
		P11	III	94	0	-	8	
		P12	III	36	-	-	8.5	
		P12	III	94	64	-	9.5	
		P13	III	36	-	-	8.5	
		P13	III	100	68	-	10	
		P14	III	36	-	-	8	
		P14	III	100	100	-	8	
		P15	III	36	-	-	8.5	
		P15	III	100	100	-	9.5	
		P16	III	36	-	-	8.5	
		P16	III	100	6	94	8	P11～94枚転用
		P17	III	36	-	-	8.5	
		P17	III	94	94	94	8	P16～94枚転用
		P18	IV	42	42	-	15	
		P18	IV	100	100	-	17	
		P19	IV	49	49	-	13.5	
		P19	IV	141	141	-	14	
		合計		2700	1724	418		

訂正箇所		正誤区分							
設計図 P246/277 置換工図(そ の3)									

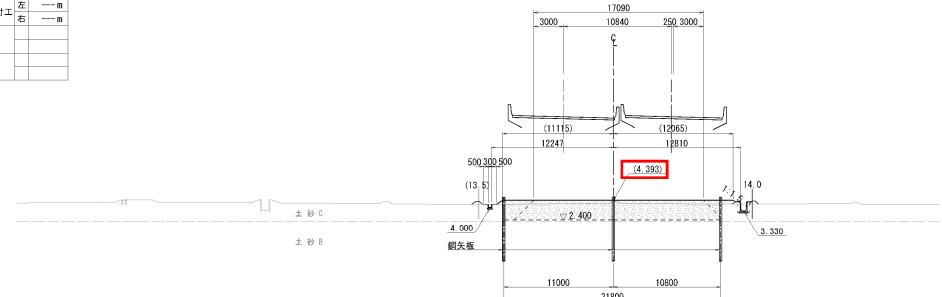
正誤区分

訂正箇所
設計図
P252/277
置換工横断図
その6

置換工横断図（その6） S=1/500

STA. 142+40.000			
地盤高	4.24 m	計面高	— m
土工施工高	4.393 m	切土施工高	2.400 m
切土面積	333 m ²	のり面工	
土砂B	— m ³	路床	0.2 m ³
土砂C	0.1 m ³	種別盛土	0.4 m ³
特殊剥離面積		種別工	
土砂B	— m ³	置換盛土A	43.4 m ³
土砂C	35.8 m ³	置換盛土B	0.7 m ³
改良土	— m ³		
土砂(表土)	— m ³		

誤



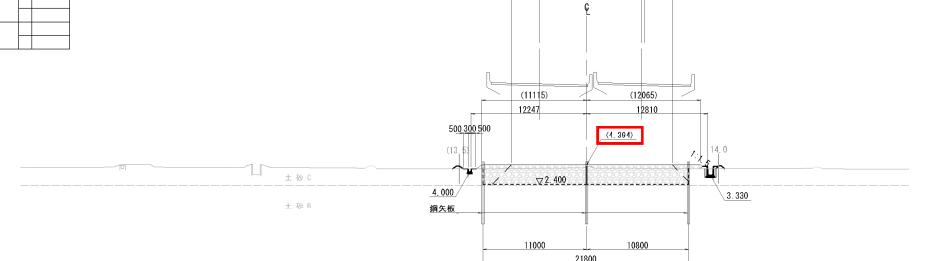
STA. 142+40.000

GH= 4.24

外回りSTA. 142+40.835 内回りSTA. 142+53.492
PH=12.896 PH=12.902

STA. 142+40.000			
地盤高	4.24 m	計面高	— m
土工施工高	4.394 m	切土施工高	2.400 m
切土面積	333 m ²	のり面工	
土砂B	— m ³	路床	0.2 m ³
土砂C	0.1 m ³	種別盛土	0.4 m ³
特殊剥離面積		種別工	
土砂B	— m ³	置換盛土A	43.4 m ³
土砂C	35.8 m ³	置換盛土B	0.7 m ³
改良土	— m ³		
土砂(表土)	— m ³		

正



置換工横断図（その6） S=1/500

STA. 142+40.000

GH= 4.24

外回りSTA. 142+40.835 内回りSTA. 142+53.492
PH=12.896 PH=12.902

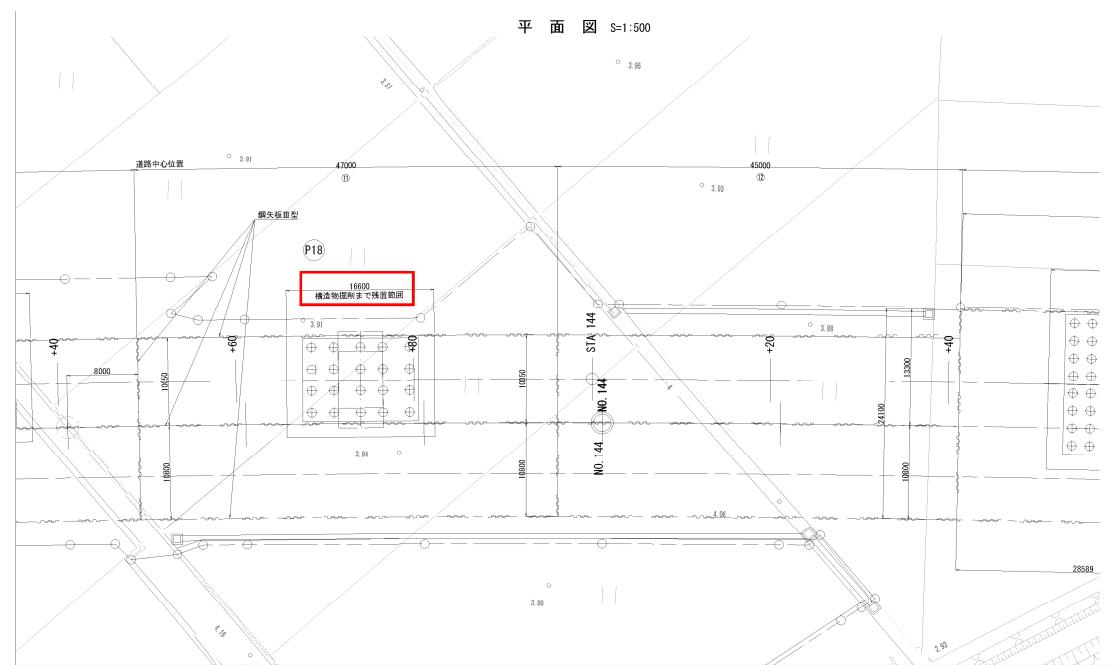
首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋(下部工)北工事

正誤区分

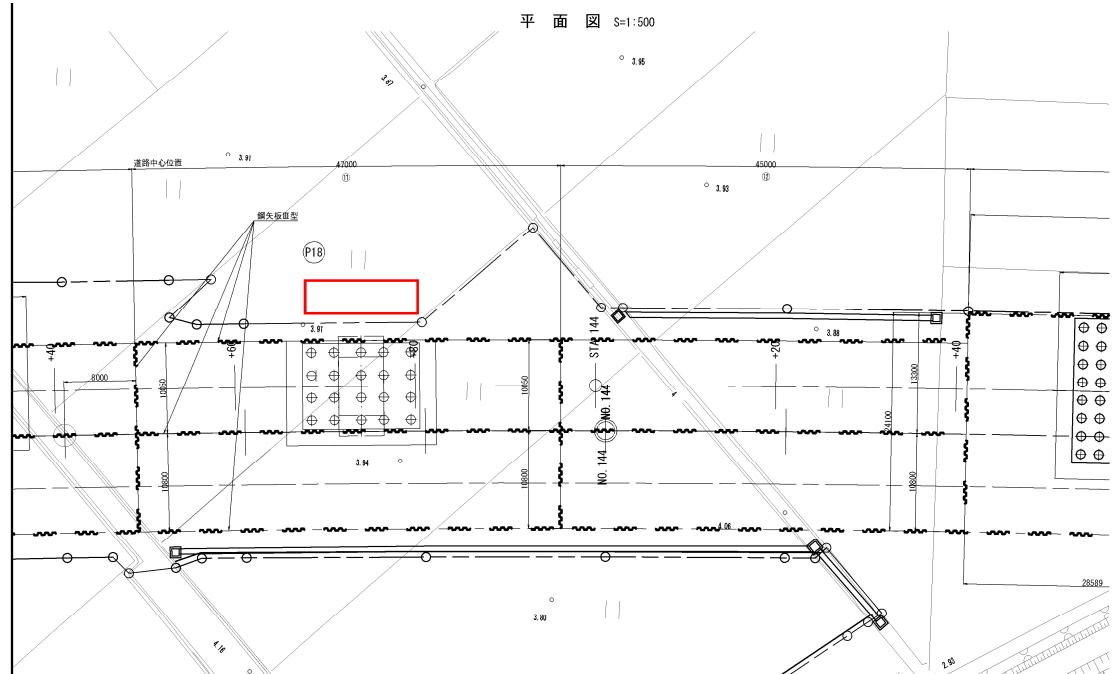
訂正箇所

設計図
P272/277
自立式土留め
工図その6

誤



正



首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋(下部工)北工事

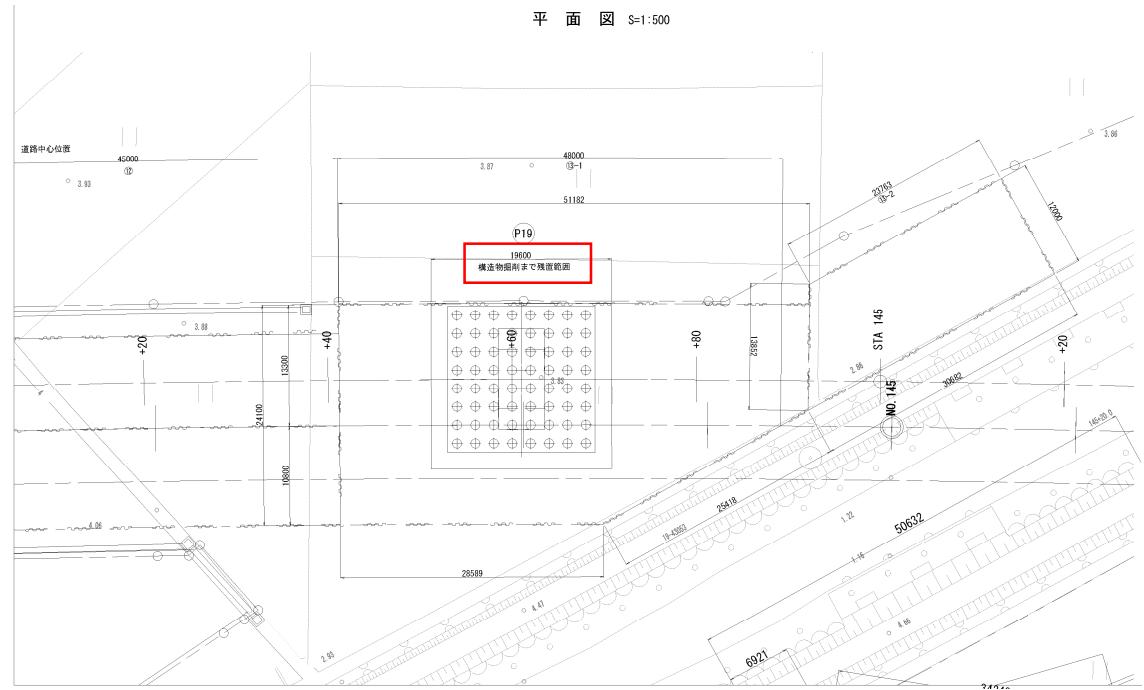
正誤区分

訂正箇所

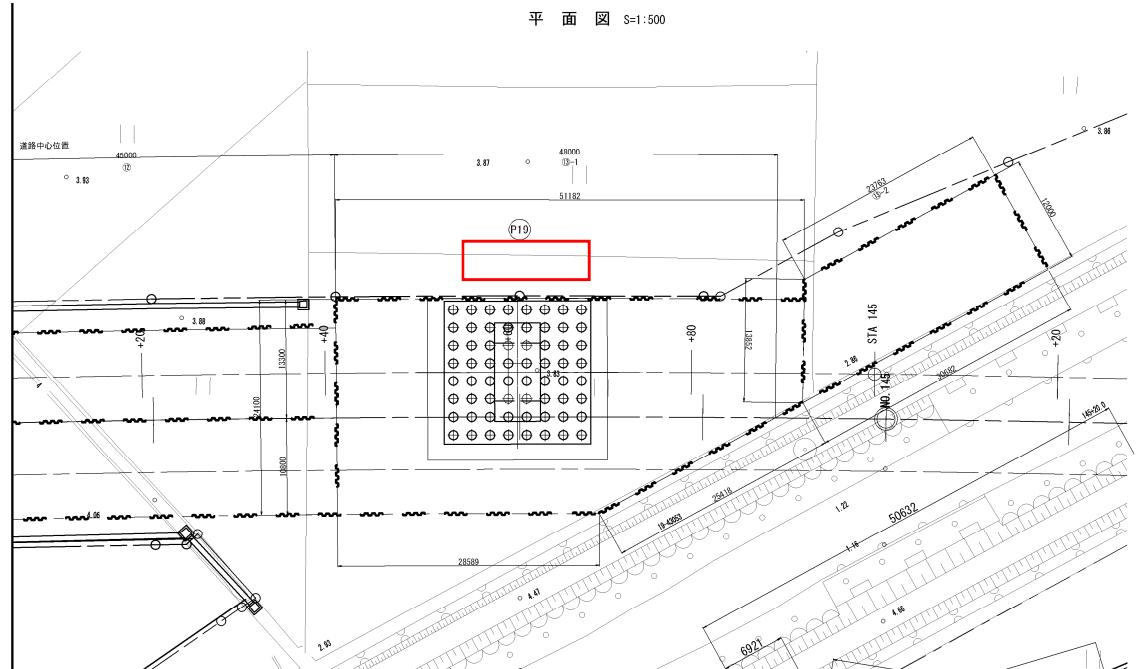
設計図
P273/277
自立式土留め
工図その7

平面図 S=1:500

誤



正



首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋(下部工)北工事

正誤区分

訂正箇所

設計図
P275/277
置換工 鋼矢
板転用計画
(参考)

ブロックNo.	区分	型	設計枚数	搬入枚数	構造物掘削 残置枚数	再利用枚数	長さ	備考
①	外	III	252	252	30	-	11.5	
①	内	III	140	140	-	-	11.5	
②	外	III	218	218	30	-	10	
②	内	III	122	122	-	-	10	
③	外	III	178	178	11	139	9.5	④～214枚転用
③	内	III	104	104	-	75	9.5	
④	外	III	278	64	43	197	9.5	⑤～197枚転用
④	内	III	154	154	-	-	9.5	
⑤	共通	III	197	0	8	-	9.5	
⑦	外	III	239	0	36	-	8.5	
⑦	内	III	84	71	-	-	8.5	
⑧	外	III	293	293	36	-	8	
⑧	外	III	48	0	20	28	8.5	
⑧	内	III	213	213	-	-	8	
⑧	内	III	27	0	-	27	8.5	
⑨	外	III	328	181	52	272	8.5	⑧～75枚、⑦～197枚転用
⑨	内	III	177	0	-	-	8.5	
⑩	外	III	240	240	36	204	8.5	
⑩	外	III	26	26	-	-	9.5	
⑩	内	III	120	120	-	120	8.5	
⑩	内	III	27	27	-	-	9.5	
⑪	外	III	236	236	-	-	9.5	
⑪	外	III	26	26	-	-	10	
⑪	内	III	118	118	-	-	9.5	
⑪	内	III	27	27	-	-	10	
⑫	外	III	252	252	-	-	10	
⑫	内	III	140	140	-	-	10	
⑬	共通	III	474	474	-	-	9	

誤

ブロックNo.	区分	型	設計枚数	搬入枚数	構造物掘削 残置枚数	転用枚数	長さ	備考
①	外	III	252	252	30	-	11.5	
①	内	III	140	140	-	-	11.5	
②	外	III	218	218	30	-	10	
②	内	III	122	122	-	-	10	
③	外	III	177	177	10	139	9.5	④～214枚転用
③	内	III	104	104	-	75	9.5	
④	外	III	278	64	43	133	9.5	⑤～133枚転用
④	内	III	154	154	-	-	9.5	
⑤	共通	III	133	0	7	-	9.5	
⑦	外	III	239	0	36	-	8.5	
⑦	内	III	84	71	-	-	8.5	
⑧	外	III	293	293	36	-	8	
⑧	外	III	48	0	20	28	8.5	
⑧	内	III	213	213	-	-	8	
⑧	内	III	27	0	-	27	8.5	
⑨	外	III	328	181	52	272	8.5	⑧～75枚、⑦～197枚転用
⑨	内	III	177	0	-	-	8.5	
⑩	外	III	240	240	36	204	8.5	
⑩	外	III	26	26	-	-	9.5	
⑩	内	III	120	120	-	120	8.5	
⑩	内	III	27	27	-	-	9.5	
⑪	外	III	236	236	-	-	9.5	
⑪	外	III	26	26	-	-	10	
⑪	内	III	118	118	-	-	9.5	
⑪	内	III	27	27	-	-	10	
⑫	外	III	252	252	-	-	10	
⑫	内	III	140	140	-	-	10	
⑬	共通	III	474	474	-	-	9	
⑭	外	III	297	297	-	-	10.5	
⑭	内	III	161	161	-	-	10.5	
合計			5131	4133	300	998		

正

正誤区分